



第2回まちづくり交付金事後評価委員会

宇都宮駅周辺地区の事後評価について

平成22年11月18日

総合政策部 地域政策室 駅東口整備室

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



(1) 地区のまちづくりの経緯について

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



地区のまちづくりの経緯について



【 当初計画（平成18年3月） 】

事業	事業名	内容
道路	宇都宮駅西口広場	舗装工事（歩道段差解消 等）
	市道1635号線	自転車歩行空間整備
地域生活基盤施設	（仮称）交流広場等整備	（仮称）交流広場整備
	公共サイン	公共サイン整備（24基）
高質空間形成施設	宇都宮駅東口駅前広場	乗降場上屋，緑化フェンス 等
	自転車歩行者専用道路	緑化フェンス，植栽 等
	旧篠原家住宅	石塀修理・復元 等
	歩行者支援施設	エレベーター，エスカレーター
高次都市施設	（仮称）広域交流プラザ	（仮称）広域交流プラザ 等
	東西自由通路及び歩行者デッキ 等	東西自由通路改築 等
地域創造支援事業	中心商店街の活性化	中心商業地出店等促進事業
	都心居住の促進	若年夫婦世帯家賃補助
	文化の振興	旧篠原家住宅（展示場整備）

住めば
愉快だ
宇都宮



地区のまちづくりの経緯について



【 第1回計画変更（平成18年11月）】

・ 事業の追加

事業	事業名	内容
高次都市施設	今泉地域コミュニティセンター	施設整備, 駐車場用地取得

・ 事業の前倒し実施

事業	事業名	内容
高質空間形成施設	宇都宮駅東口広場 等	平成19年度実施予定であった緑化フェンス設置工事及び乗降場上屋工事の一部を前倒しで実施



地区のまちづくりの経緯について



【 第2回計画変更（平成19年8月）】

- ・まちづくり目標の変更(市町合併に伴う人口増により)

変更前	45万市民や来街者が集い賑わう交流拠点の形成
変更後	50万市民や来街者が集い賑わう交流拠点の形成

- ・事業の追加

事業	事業名	内容
道路	市道929号線	歩道拡幅 等
	市道1525号線	歩道拡幅 等
地域生活基盤施設	宇都宮駅東口自転車駐車場	
地域創造支援事業	防犯対策事業	防犯カメラ設置

- ・事業費の精査

- ・事業期間等の変更：計画期間内における事業の実施年度変更 等



地区のまちづくりの経緯について



【第3回計画変更（平成21年11月）】

・まちづくり目標の変更

大目標	
変更前	北関東をリードするひと・もの・ 情報 ・文化の交流するゲートシティの形成 県都・宇都宮の玄関口として、ひと・もの・ 情報 ・文化が活発に交流し、 北関東 、さらには全国に発信する都市拠点を形成する
変更後	北関東をリードするひと・もの・文化の交流するゲートシティの形成 県都・宇都宮の玄関口として、ひと・もの・文化が活発に交流し、 安全で安心なまちづくりを行う

小目標：2	
変更前	50万市民や来街者が集い、賑わう交流拠点の形成
変更後	地域の魅力を向上し、ひと・もの・文化が活発に交流するまちづくり

小目標：3	
変更前	北関東をリードする新たな拠点に相応しい都市機能の集積
変更後	すべての人にやさしく安全で安心なまちづくり

住めば
愉快だ
宇都宮



地区のまちづくりの経緯について



【 第3回計画変更（平成21年11月） 】

・ 目標を定量化する指標の変更

当初計画（H18. 3）における指標	現計画（H21. 11変更）における指標
宇都宮駅乗降客数	宇都宮駅乗降客数
（仮称）交流広場イベント開催回数	今泉地域コミュニティセンター年間利用回数
東大通り通行量	東大通り通行量
コンベンション施設利用満足度	—

・ 事業の追加

事業	事業名	内容
地域生活基盤施設	宇都宮駅東口自転車駐車場	屋根設置
	宇都宮駅東口広場 等	駅前広場歩道舗装



地区のまちづくりの経緯について



【 第3回計画変更（平成21年11月）】

・事業の削除

事業	事業名	内容
地域生活基盤施設	(仮称) 交流広場 等	交流広場整備の削除
	公共サイン	24基 ⇒ 21基
高質空間形成施設	昇降施設 (エレベーター)	5基 ⇒ 3基
高次都市施設	(仮称) 広域交流プラザ	削除 (民間事業者の辞退による)
	(仮称) 産業観光情報プラザ	削除 (民間事業者の辞退による)
	南北歩行者デッキ	削除 (民間事業者の辞退による)
	東西歩行者デッキ	削除 (民間事業者の辞退による)
地域創造支援事業	中心商店街の活性化	削除 (対象エリアでの利用者なし)
	旧篠原家住宅	削除 (市単独費への振り替え)

・事業費の精査

住めば
愉快だ
宇都宮



(2) 事後評価について



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



①方法書について



方法書とは…

事後評価の実施にあたり、『成果の評価』『実施過程の評価』等について、
時期・作業内容・方法をあらかじめ設定し、
事後評価を円滑に進めるための『評価の実施計画書』。

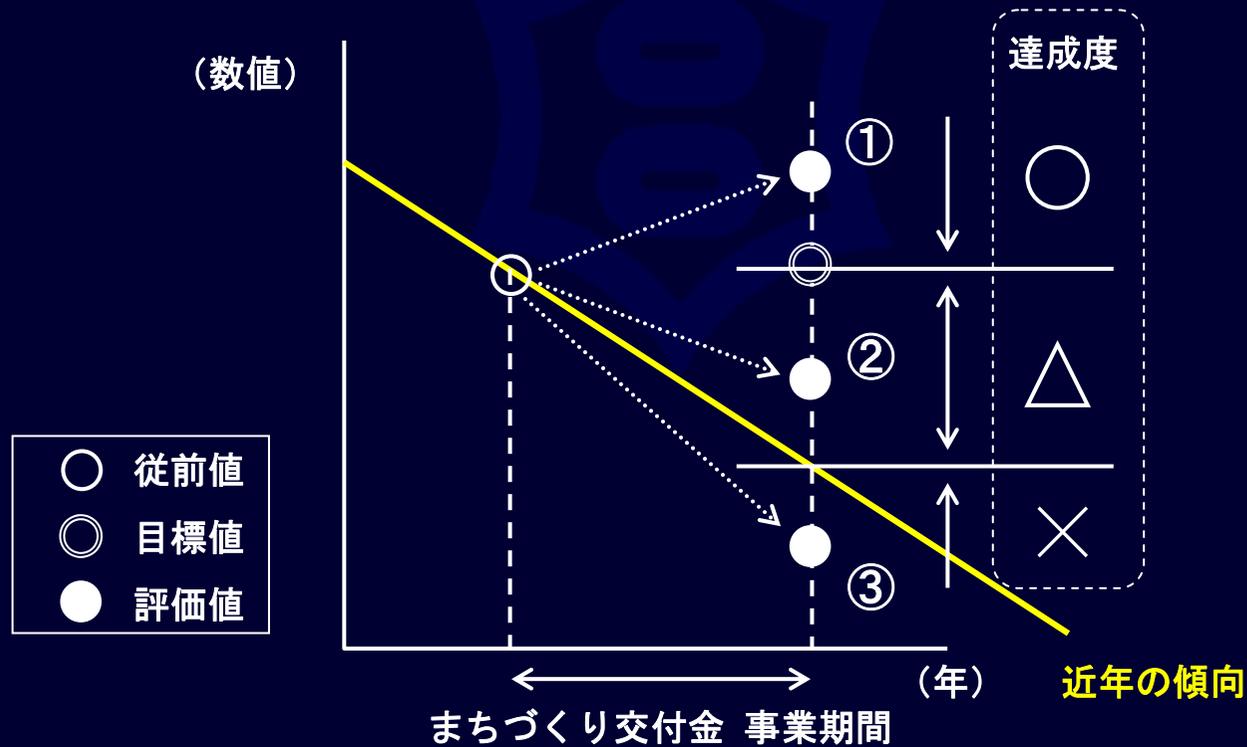


②成果の評価について



評価判定基準

評価の基準	達成度
①評価値が目標値を上回った場合	○
②評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
③評価値が目標値には達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合	×



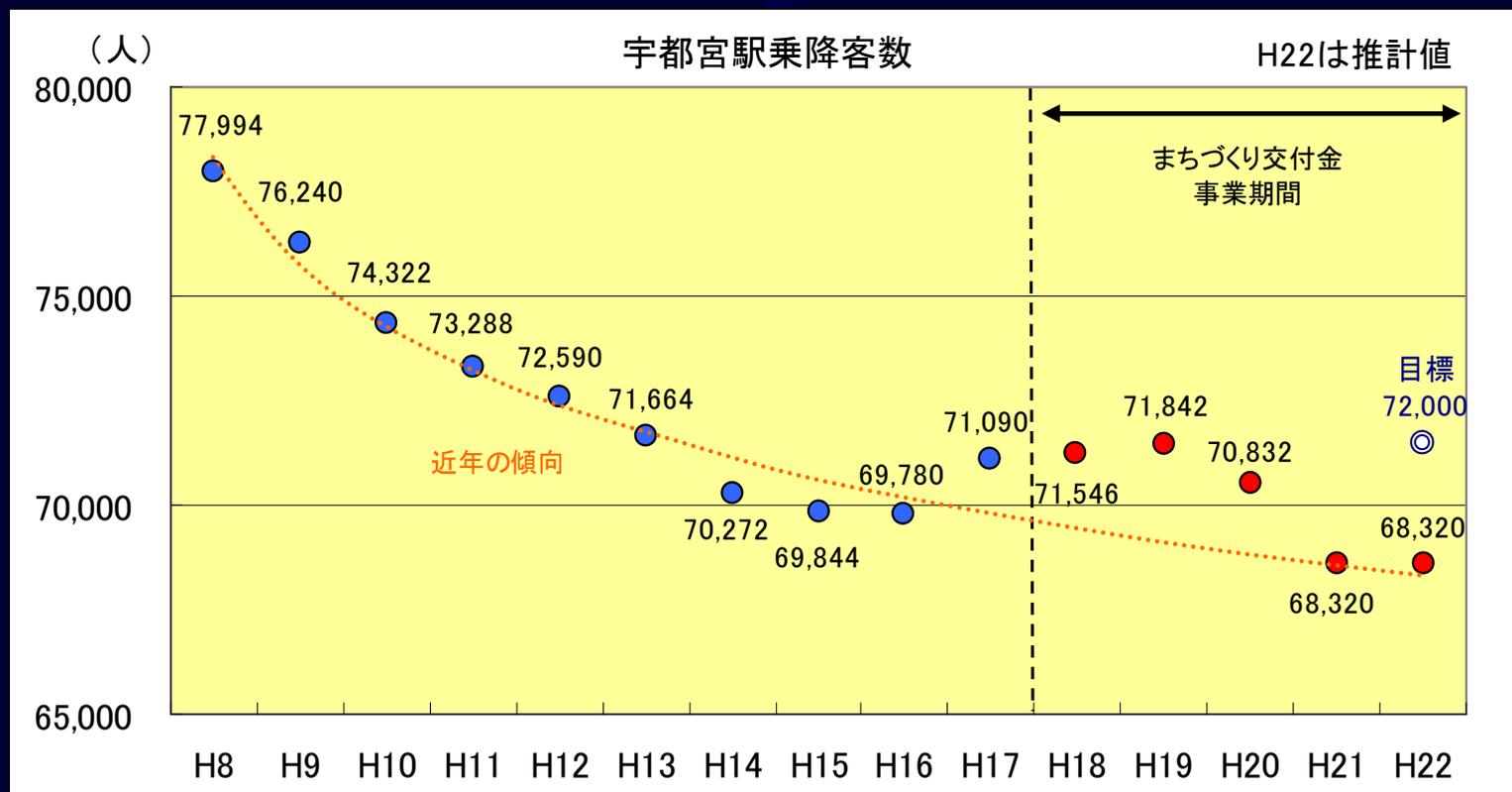


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標 1 : 宇都宮駅乗降客数】

指標	単位	従前値 (H14)	目標値 (H22)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
乗降客数	人/日	70,000	72,000	68,320	△	なし



住めば
愉快だ
宇都宮



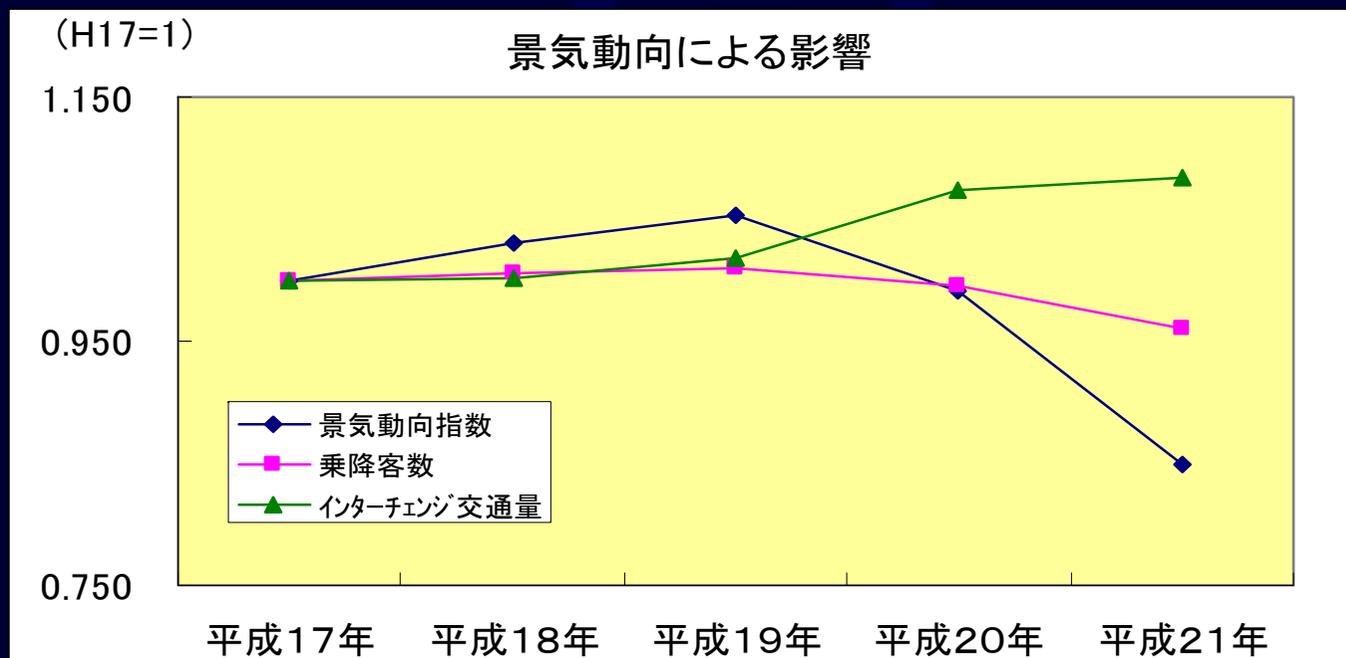
②成果の評価及び③効果発現要因について



参考：景気動向及び高速道路割引による影響について

		H17	H18	H19	H20	H21
景気動向指数 (栃木県)		100.0 (1.000)	103.0 (1.030)	105.3 (1.053)	99.0 (0.990)	85.0 (0.850)
乗降客数	人	71,090 (1.000)	71,546 (1.006)	71,842 (1.011)	70,832 (0.996)	68,320 (0.961)
インターチェンジ交通量 (宇都宮IC)	台	5,337,937 (1.000)	5,343,283 (1.001)	5,433,949 (1.018)	5,729,112 (1.073)	5,789,135 (1.083)

注) 括弧内はH17=1とした時の値



住めば
愉快だ
宇都宮

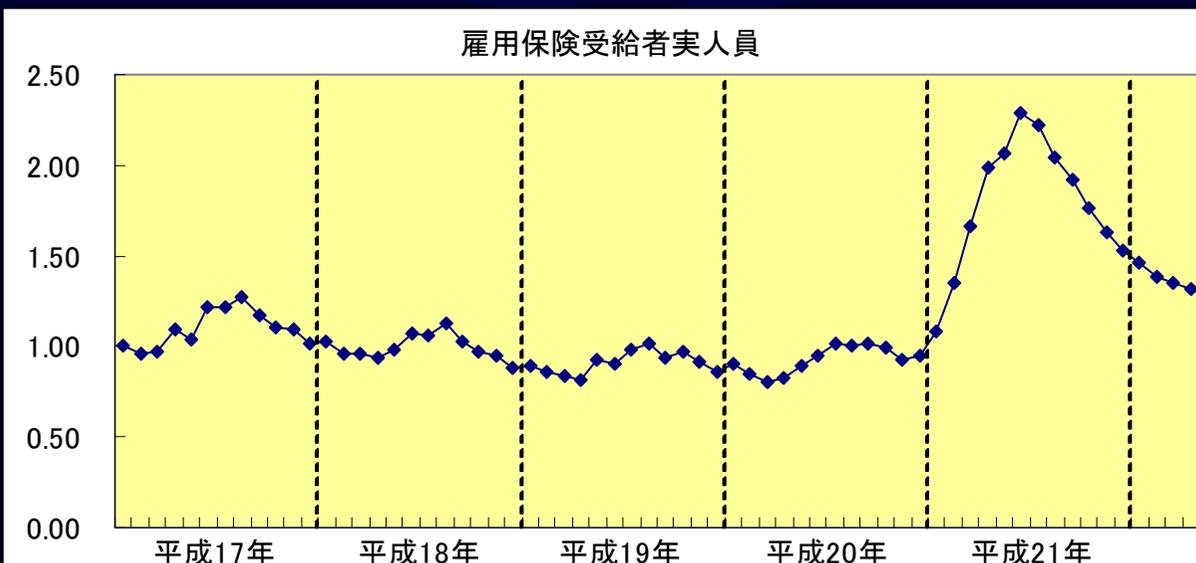
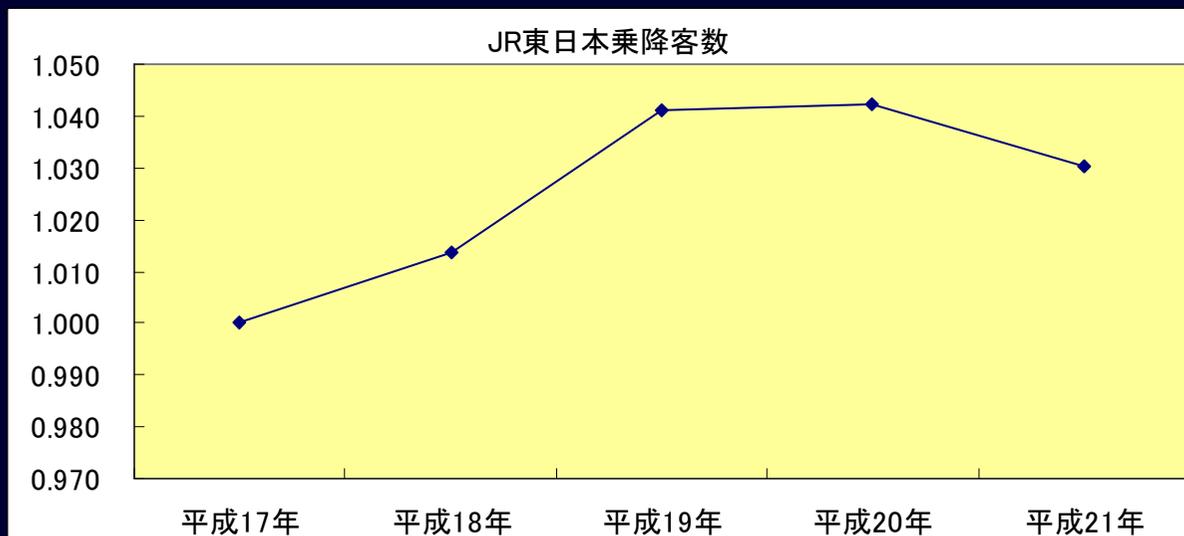


②成果の評価及び③効果発現要因について



参考：景気動向及び高速道路割引による影響について

注) H17=1とした時の値



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

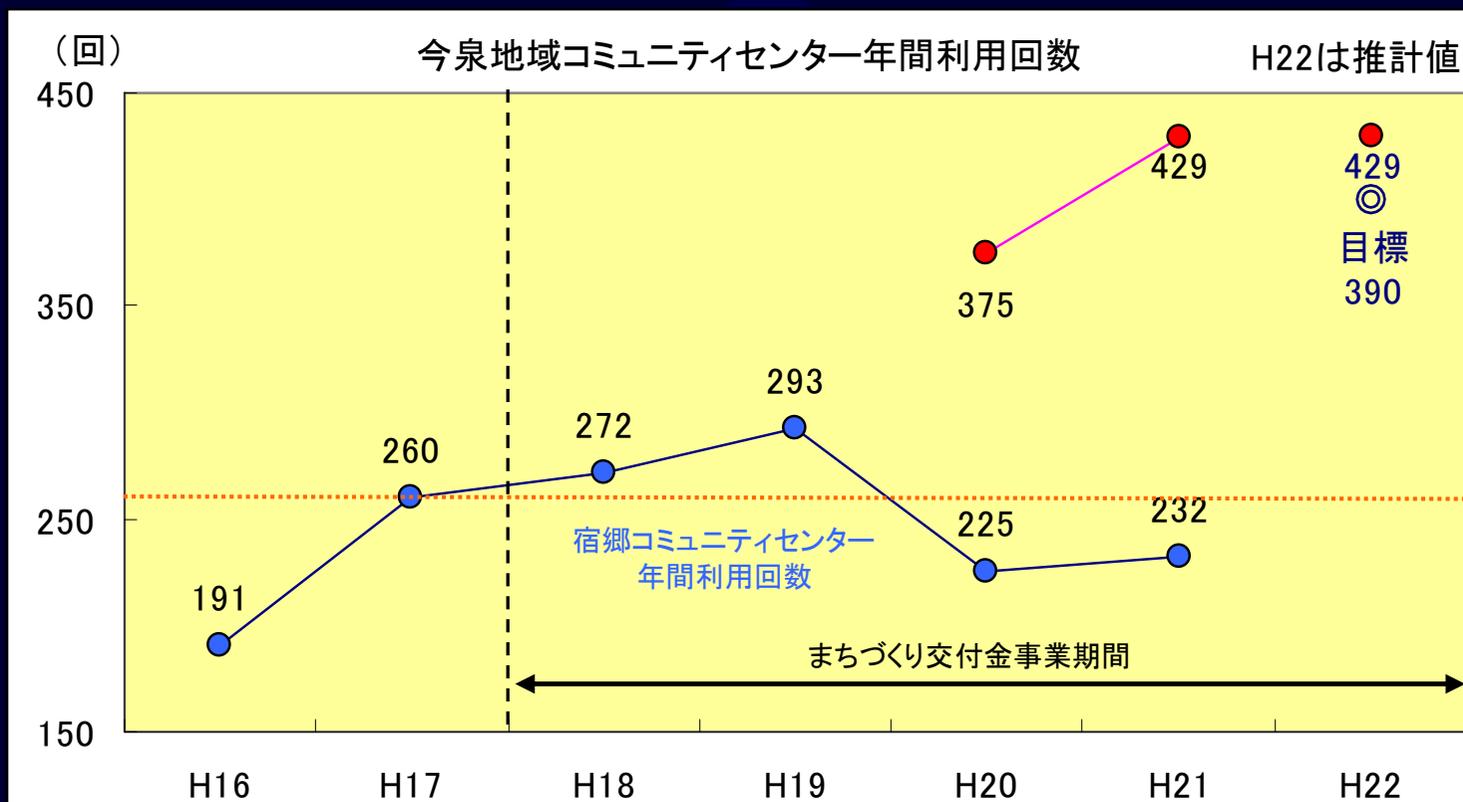


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標 2 : 今泉地域コミュニティセンター年間利用回数】

指標	単位	従前値 (H17)	目標値 (H22)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
利用回数	回	260	390	429	○	



住めば
愉快だ
宇都宮

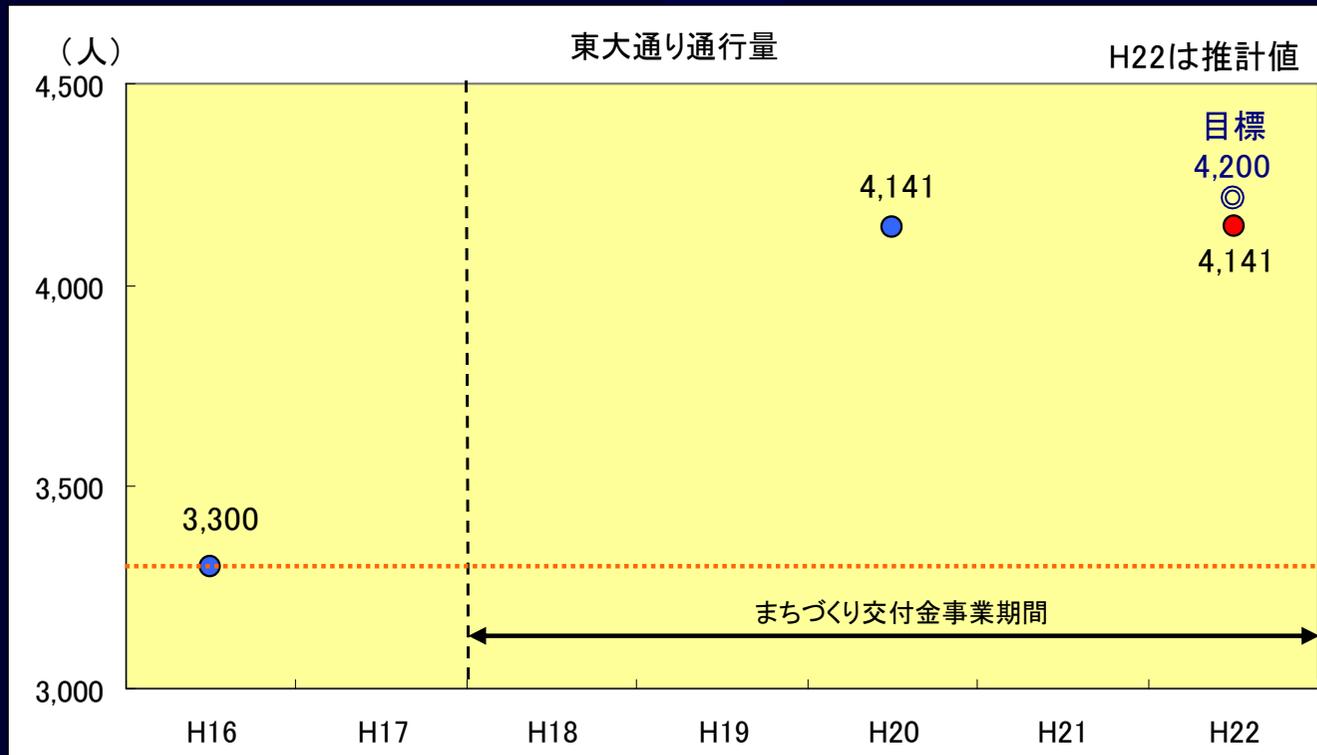


②成果の評価及び③効果発現要因について



【指標 3 : 東大通り通行量】

指 標	単位	従前値 (H 1 6)	目標値 (H 2 2)	評価値	目標 達成度	1 年以内の 達成見込み
通行量	人	3, 3 0 0	4, 2 0 0	4, 1 4 1	△	あり



住めば
愉快だ
宇都宮

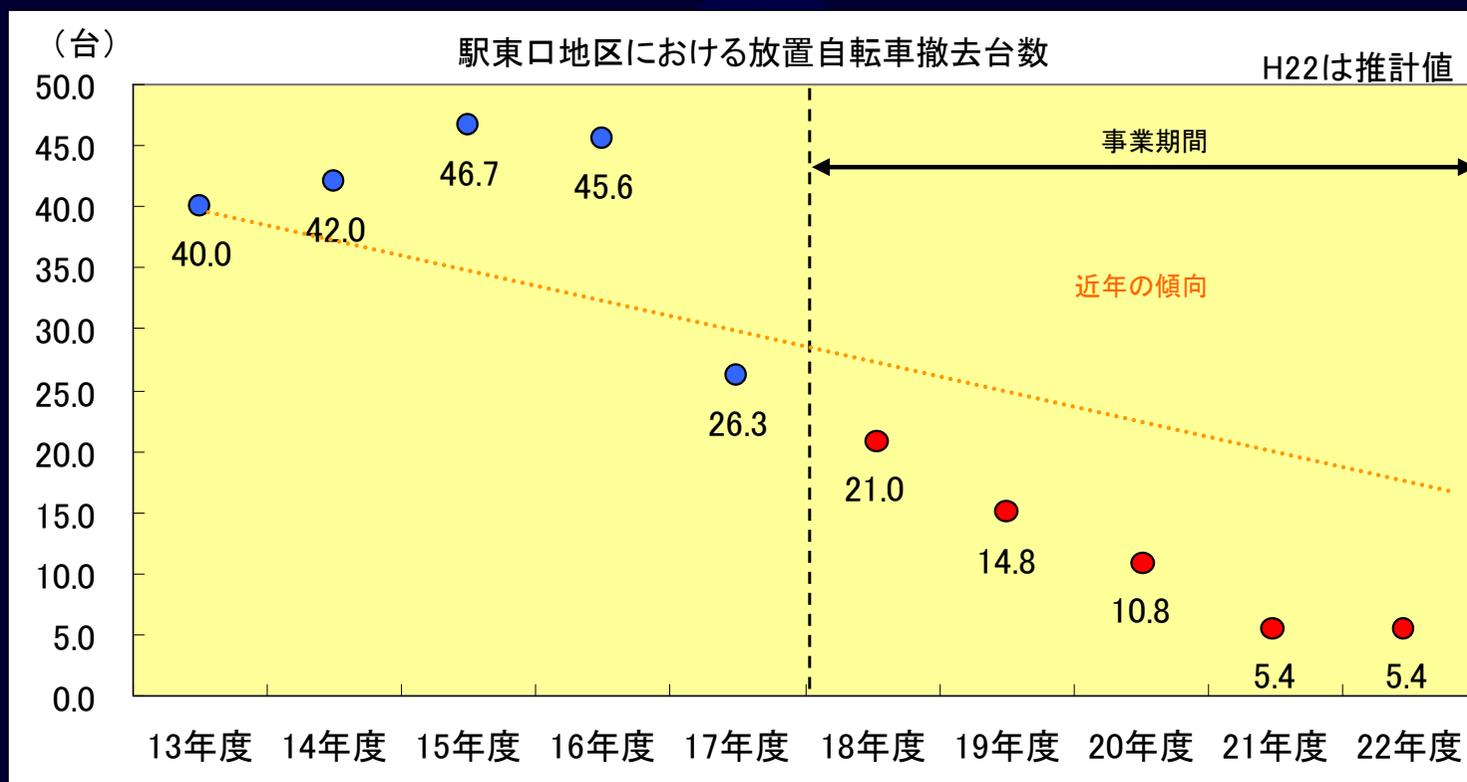


②成果の評価及び③効果発現要因について



【その他の指標：駅東口地区における放置自転車撤去台数】

指標	単位	従前値 (H17)	目標値 (H22)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
撤去台数	台	26.3	—	5.4	—	—



住めば
愉快だ
宇都宮



②成果の評価及び③効果発現要因について



【定性的な効果発現状況】

- コミュニティセンターを整備したことにより，人々が集うスペースが創出され，住民の地域交流やまちづくり活動の場として様々な催し物が実施されている
- 今後の宇都宮駅東口地区整備について，賑わいの創出を期待するなど活発な意見が寄せられており，市民のまちづくりへの意識が高まった。
- 市民等による美化活動が行われ，まちづくり活動への参画意識が高まった。



④実施過程の評価について



□モニタリング

H21年度にモニタリングを実施

- ①事業の進捗状況、②指標及びその他の数値目標の効果発現状況の確認

□住民参加プロセス

- ・住民説明会の実施
- ・地元住民によるコイの放流イベント

□持続的なまちづくり体制の構築

- ・今泉地区コミュニティ協議会



⑤事後評価原案の公表について



公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法
インターネット	市ホームページに原案掲載	平成22年10月1日～15日 (2週間)	平成22年10月1日～15日 (2週間)	地域政策室 駅東口整備室(担当課窓口), 担当課への意見書提出のほか, 電話, FAX, 電子メールにより受付
広報掲載・回覧・個別配布	市広報誌に原案公表に係る情報を掲載している旨を掲載	平成22年10月1日号	平成22年10月1日～15日 (2週間)	
説明会・ワークショップ	今泉地区コミュニティ協議会において原案公表に係る説明を実施	平成22年10月4日	平成22年10月1日～15日 (2週間)	
その他	窓口で閲覧	平成22年10月1日～15日 (2週間)	平成22年10月1日～15日 (2週間)	



(3) 今後のまちづくりについて

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



今後のまちづくり方策について



【まちの課題の変化】

- 駅前広場や自転車駐車場等の整備によりバス・タクシーや乗降場からの乗り換え利便性及び自転車・バイク利用者の利便性が向上した
- 安全で安心なまちづくりの推進を行うとともに明るくて開放的な東西自由通路に改築するなど宇都宮の玄関口としての魅力が向上した
- 宇都宮駅乗降客数は、駅前広場整備等の交通結節機能の強化に取り組んだことで、事業期間中に一時微増に転じたが、近年の経済情勢の変動による大手製造業の工場閉鎖等による影響から、いまだ減少傾向にある
- 本地区を含む中心市街地活性化計画区域内の居住人口は、下げ止まり傾向にあるものの、賑わい創出のためには、広域的な交流を促進する新たな都市拠点の形成による来街者の増加や、引き続き、都心居住促進による定住人口の増加を図っていく必要がある
- 低炭素型の環境にやさしいまちづくりを推進するため、過度な自動車依存からの脱却を図る必要がある

住めば
愉快だ
宇都宮



今後のまちづくり方策について



ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成
県都・宇都宮の玄関口にふさわしい広域的な交流を促進する拠点の形成

1. 来街者の増加

宇都宮駅乗降客数は依然として減少傾向にあることから、広域交通の要衝地という立地特性を生かした広域的な交流を促進する新たな拠点の形成や多様な機能集積により、来街者の増加を図る。

2. 居住人口の増加

中心市街地内の居住人口は、下げ止まり傾向にあるものの、賑わいの源である居住人口を更に増加させるため、居住実態（世代、域内外転出入状況など）を踏まえ、市民ニーズにも対応した生活空間の形成により、更なる都心居住の促進を図る。

3. 自動車依存からの脱却

過度な自動車依存の脱却を図り、多様な交通手段によるアクセス性向上、自転車も含めた公共交通等の利用促進により、環境にやさしいまちづくりに取り組む。

住めば
愉快だ
宇都宮